



ちいさな絵本館だより

2015年3月発行

第50号

もうすぐ、幼稚園、学校！

4月になると、幼稚園や学校で新生活に入る子どもたちは、そろそろ落ち着かない日々を過ごしているのではありませんか？保護者の皆さんもすんなり新生活に慣れてくれるのか、ドキドキしてらっしゃるかもしれませんね。新生活にちなんだ絵本の特集です。



『ようちえん』ディック・ブルーナ：作 いしいももこ：訳 福音館書店

新生活に入る時は、とにかく楽しいことだらけ！って思ってもらうことが一番です。おなじみのブルーナの絵本で、幼稚園を体験してもらうっていうのはいかがでしょうか？幼稚園の絵本ですが、赤ちゃん絵本の棚にあります。



『ぐるんぱのようちえん』西内ミナミ：文 堀内誠一：絵 福音館書店

一人（？）ぼっちの大きなゾウのぐるんぱはみんなと楽しみたくて、色々なお店に働きに行きますが、どうしても大きなことが邪魔になって、一人ぼっちに戻ってしまうのですが・・・。でもね、大きなことが好都合になることがありましたよ！！



『わたし ようちえんに いくの』ローレンス・アンホールト：文 キャサリン・アンホールト：絵 文化出版局

アンナは幼稚園に行くころ。靴が一人で履けるか？お友達と仲良くできるか？心配なことがいっぱい。保護者の皆さんも、不安だらけ。でも、アンナを迎えてきたママは、最高のお話が聞けて、すご~く嬉しくなったのではないかしら。アンナの一日での成長を保護者の皆さんもこの作品で、味わってみてください。



『わたしもがっこうに いきたいな』アストリッド・リンドグレーン：作 イロン・ヴィークランド：絵 石井登志子：訳 徳間書店

いと思います。

リンドグレーンとヴィークランドの黄金コンビによる作品です。レーナは5歳で、まだ学校へ行っていません。学校がどんなところか興味津々。ある日、兄のペーテルがレーナを学校に連れて行ってくれると・・・。さて、レーナにとって学校はどんなところに見えたでしょうか？やっぱり楽しいところと感じてほしいという保護者の信頼を裏切らないと思います。



『こんなちはといでごらん』マージョリー・W・シャーマット：文 リリアン・ホーバン：絵 さがのやよい：訳 童話館出版

恥ずかしがり屋のネズミバネッサに、お母さんはお友達ができる魔法の言葉を教えてくれます。「こんなちは」って本当に魔法の言葉ですよね。まずは、初めにご挨拶！！